

Weekly Bulletin 2020-2021



RI会長
ホルガー・クナーク



ロータリーは
機会の扉を開く

静岡東ロータリークラブ

会長/相原雄治 幹事/長島秀親

事務局/静岡市葵区追手町2-12 静岡安藤ハザマビル5F TEL054-254-5611

例会場/ホテルアソシア静岡 例会日/毎週 木曜日 12:30~13:30

<http://www.shizuoka-east-rc.jp>



会長
相原雄治



第2983回例会 令和 3年 5月 13日

《司会》長島 秀親 君

《合唱》「我等の生業」

《ソングリーダー》加藤 力弥 君

《ゲスト》(株)鈴生 代表取締役社長 鈴木 貴博 様

《会長挨拶要旨》川崎副会長(相原会長欠席の為)

本日は相原会長がご欠席のため、私がお挨拶させていただきます。

皆様もご存じの通り5月10日から85歳以上の高齢者向けコロナワクチン接種の予約が始まりました。来月90歳になる私の母のところにも連休明けに予約券が届きました。ネットでも電話でも予約が非常に困難だと聞いていたので、息子、東京在住の妹夫婦、千葉にいる妹に応援を頼み、いざ9時に申し込みスタート！8時59分にフライイング気味に電話をした千葉の妹がヒットしました。しかし、通じた



ものの市の担当者も慣れていない上、パソコンの入力画面が重くてなかなか進まず、結局40分かかってようやく2回分のワクチン接種予約を完了することができました。予約にはご家族の協力が必要になると思います。

さて、本日は青少年奉仕グループのクラブフォーラムの日です。酒井会員のご紹介で、株式会社鈴生（すずなり）の鈴木貴博様をお迎えしました。鈴木様は、「野菜を育てるのではなく、育つ手助けをする」をモットーに、本気で農業に向き合っておられます。(株)モスフードサービスとともにモスバーガーのレタスの栽培をしたり、NEXCO 中日本とともに

高速道路沿線地区の活性化を行ったり、最近では、太陽光型植物工場の開発や「農業×福祉事業」を行うすずなりカレッジを立ち上げたりと様々な新しい農業に積極的にチャレンジされています。本日は、「農業を通じて人を育てることでの農福連携」というテーマで、鈴生さんの取り組みのうち、福祉に関連した部分を中心にお話させていただきます。

《来賓卓話》

クラブフォーラム（青少年奉仕）

(株)鈴生 代表取締役社長 鈴木貴博様

「野菜を育てることで人も育つ

～農福連携による人材育成～

<卓話要旨>

・(株)鈴生（すずなり）の紹介：

自分が大学2年生の時、父親が脱サラして農業を始めたことがそもそものスタート。会社設立は平成20年12月、今期で13期目。事業内容は野菜生産販売、栽培指導など、前期年商は8.5億円。生産地域は静岡市から始まって、県内8市、広島県安芸高田市まで広がり、9か所で展開。栽培面積161ヘクタールは県内1を誇る。現在グループ企業8社を経営、グループ従業員150名。モスフードサービス、NEXCO 中日本との共同事業も立ち上げている。今回ご紹介頂いた監査法人トーマツ/酒井さんにはグループ企業の税務対応や農福の取組みで大変お世話になっている。

・経営理念は、美味しさを求めて、全力で手を抜かずに野菜を作る事。美味しさの観念は個人に因って違うが、この理念で作ったものは皆が美味しいと感じてくれるとの考え。

・事業を断念しようと思った時期に、お世話になった人からの教えもあり「野菜は育てるのではなく、育つのを手助け

する」という事を身をもって学んだ。しゃべらない野菜の声を聴く姿勢が重要で、次第に声が聞こえる様になって来て、事業も軌道に乗って来た。

- ・人を育てる事も一緒では？と考える様になり、現在取組んでいる「野菜を育てることで人も育つ～農福連携による人材育成」へと繋がる。
- ・人材教育のフィールドとなる太陽光型水耕栽培事業を開始/企業名；TEN Green Factory(株) 横浜の青果物中間業者との合弁事業大手コンビニエンスストア向けにメニュー開発を一緒に行い、客先ニーズに合った野菜を栽培し納めている。約60種の野菜栽培が可能な施設で、事前に客先と品種、値段を決めているので、しっかり利益を確保する事が可能。害虫、細菌の定期的調査を外部に委託し無農薬野菜を栽培。ハウス内にセンサーを設置し栽培環境を整えており、更にICT、AIを活用し極力人手を減らしている。高性能監視カメラで遠隔栽培も始めている。将来的に客は自分が発注した野菜の栽培状況を、店舗等に居ながら超遠隔で確認出来る様にする。
- ・この施設は作業員の40%が障害者であっても運営が出来る様に設計されている。以前から養護学校の生徒に体験栽培の場を提供していたが、露地栽培では地面の凸凹などもあり上手く作業してもらえなかった。それらの経験を経て、福祉事業x太陽光型植物工場に繋がった。福祉事業を優先し過ぎると儲からなくなる傾向があるが、それでは長続きしない。事業として成り立つことを重視している。
- ・「農業と人材をつなげる会社・Grand Farm(株)」を設立 現在、外部委託している作業もグループ企業間で委託(内製化)し外部流失を抑えるスキームを目指す。
- ・また、太陽光型植物工場での作業を主な仕事とした指定障害福祉サービス事業所「すずなりカレッジ磐田校」も設立。障害者が農業を通じて、基本マナー、作業遂行、就労スキルを学ぶ場を提供。一般的な単純製造作業と違い、農業は生命/成長を一番早く確認出来て、達成感を毎日体験出来る生業であり、障害者教育に適したプログラムとなっている。
- ・このGrand Farmは、「農業を活用したヘルスケア事業」も展開。以前から取組みたかった事業。企業とコラボし、

うつ病・メンタル不調を患った社員を農業に従事させることで、職場復帰させる効果が期待出来る。



健康経営・健康投資を重視する企業が増えて来ており、経済産業省・厚生労働省の支援も有る事から充分事業として成り立つスキーム。企業は休職社員に掛かるコストを削減出来、人手不足の農家としては労働力確保に繋がる

Win-winの関係。現代社会が

抱える課題の解決策として社会的貢献度も高い。

今後この事業を展開するに当たり、資産が積みあがらない様に各栽培ハウス所有者から鈴生グループが栽培受託し賃料を支払うスキームを考えている。

《所感》

- ・長田会員、佐野会員、川崎副会長、大協会員から質問が寄せられ、関心の高さを感じられる卓話でした。
- ・私自身、過去数年間小さな家庭菜園で「いんげん豆、トマト、ナス、ピーマン、大根などなど」を育てたことがあります。黒土をいじり、野菜の成長を手助けしていると、手は真っ黒になるのですが、何故か仕事の疲れが取れて、心が穏やかになるのを感じた経験があります。心の浄化作用があるのかもしれませんが。農作業後、取れたての野菜をつまみに飲むビール(当然キリンです)の美味さは格別でした！笑

《スマイル報告》

酒井 博康君 鈴生様、本日の卓話ありがとうございました。鈴生さんのおいしい野菜で静岡がますます元気になることを祈念してスマイルさせていただきます。

落合 功男君 結婚記念日のお花ありがとうございました。連絡していなかったのですが、思わぬサプライズになり、とても喜んでおりました。ありがとうございます。

小日向 真君 スマイルが少ないということで、使命感をもってスマイルします。カクテルの日だそうなので、是非ご自宅でカクテルをお試しくください。静岡は外食も応援お願いいたします！！ (会報作成 山川 雅久)